

国語

第6学年

育成を目指す資質・能力【表現力】【協調性・柔軟性】

単元名

おもしろい絵を見てくだ祭 ～絵の魅力について評論しよう～

教材文「『鳥獣戯画』を読む」

【単元の概要】

美術館からの展示している絵の評論文を書いてほしいという依頼をきっかけに、絵を見にきた人に興味をもってもらえる評論文を書きたいという意欲をもたせます。教材文の優れた叙述から、評論文の書きぶりを学ぶ中で、筆者の主張を伝えるための表現や構成の工夫などに気付かせ、読む力と書く力を複合的に育成していきます。

学習指導要領における領域・内容

B 書くこと ウ

C 読むこと ウ

他教科等との関連

図画工作、社会

◆単元の目標

評論文を書くという目的に応じて、教材文「『鳥獣戯画』を読む」から筆者が絵の何を取り上げ(事実)、どのような言葉で解説(感想・意見)しているかを読み取ることができる。そして、読み取りで獲得した筆者の書きぶりを参考に、感じたこと(感想・意見)を伝えるために必要な根拠が、絵のどこに当たるのか(事実)が分かるようにおすすめの絵の評論文を書くことができる。

◆単元の展開 (全 11 時間)

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>課題の発見(朝の会)</p> <p>美術館の学芸員さんから名画の評論文を書いて欲しいという依頼を受ける。</p>	<p>○美術館に展示してもらえるのは、うれしいな。 ○みなさんに興味をもってもらえる文章を書きたいな。 ○お気に入りの絵が見つかったよ。どうやって書いたら絵の魅力が伝わるのかな。</p> <p>美術館に評論文を展示したいという意欲をもつ。</p>	<p>■(事前の取組) 学級文庫等に美術に関する図書を置き、自由に手に取ることができるようにしておく。 ■(事前の取組) 美術館の学芸員さんと連携し、美術館の名画複製品の貸出や評論文の展示の許可を得ておく。</p> <p>【図画工作】 名画の鑑賞の学習で学んだことを想起させる。</p>
<p>美術館に名画評論文を展示する『おもしろい絵を見てくだ祭』を開催しよう</p>		
<p>課題の設定(2)</p> <p>自分がおすすめしたい名画の評論文を書く。</p> <p>教師が書いた評論文と自分の文章を比較する。</p>	<p>○評論文ってどのように書けばよいのかな。 ○何から書けばよいか分からないよ。 ○いざ、書くとなると難しいな。</p> <p>書くことの難しさを感じ、評論文の書き方について学びたいという思いをもつ。</p> <p>○呼びかけなどの工夫があるから読んでいてわくわくするな。 ○絵のどの部分を見ているかがよく分かるように書いた方がよいな。 ○絵をおすすめしたいという強い気持ちが伝わってくるよ。 ○絵から分かることだけでなく描いた人のことも想像しているな。</p> <p>よい評論文へのイメージがもて、自分の評論文を書き直してよりよくなりたいという気持ちが湧いてくる。</p>	<p>■魅力のある評論文の書き方を学びたいという意欲をもたせるために、学ぶ前段階で評論文を書く活動を設定する。</p> <p>■評論文のモデルのイメージがもてるように教師が書いた評論文を提示する。</p> <p>■評論文とは、どのような文章なのかを全体で確認し、共通認識をもたせる。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
<p>教師が高畑さんの文章を参考にしたことを知り、教材文・絵巻物と出会う。学習計画を立てる。</p>	<p>○高畑さんは、ジブリ映画の監督だから、絵から物語を想像するのが上手だな。 ○高畑さんの文章の書きぶりを参考にしたらプロのような文章が書けるようになるよ。 ○高畑さんが絵のどこを見ているか、どんな言葉で評価しているかを学びたいな。 ○高畑さんは、この絵巻物の何に魅力を感じたのか友達と話し合いたいな。 ○高畑さんは、この評論文を書くことで何を伝えたいのかな。 ○図画工作科で学習した昔の日本の美術作品とも似ているところがあるのかな。</p> <p>自分の評論文を魅力あるものにするために、高畑さんの文章から学びたいという気持ちが高まる。</p>	<p>■教師が評論文を書く際に教材文を参考にしたことを示し、教材文を読む必然性がもてるようにする。</p> <p>【図画工作】 「味わってみよう日本の美術」で絵巻物を鑑賞した学習を想起させる。</p> <p>■「筆者の主張」、「絵の着眼点」、「感想・評価」、「表現の工夫」など、学ぶ観点を整理し、児童と共に学習計画を立てる。</p>
情報の収集(5)		
<p>『「鳥獣戯画」を読む』で述べられている筆者の主張を読む。</p>	<p>○筆者の主張は、9段落目に書いてあると思う。 ○「国宝であるだけでなく、人類の宝」って書いてあるよ。 ○どうして、人類の宝なのだろう。 ○大昔に漫画やアニメにつながるモダンな絵巻物が描かれたすばらしさを伝えたいのだと思うよ。 ○描いた人が何物にもとらわれない、自由な心をもっていたことのすばらしさを伝えたいのかな。 ○八百五十年、祖先たちが大切に保存していたから人類の宝なのだと思うよ。</p> <p>筆者の主張の意味を話し合うことで、筆者のものの見方や考え方を理解しようとしている。</p>	<p>■筆者が絵巻物の魅力をどのように捉えているか、叙述をもとに読み取り、交流し合うことで意味を深める。</p> <p>■筆者は自分の主張（鳥獣戯画のすばらしさ）を伝えるために、様々な工夫をしていることに気付かせる。</p>
<p>筆者の絵の着眼点と感想や評価を結び付けて読む。</p>	<p>○墨一色の線がびのびとしている様子を想像しているよ。線から想像を広げているね。 ○大きさがちがうはずの兎と蛙に着目して、漫画みたいだと感想を言っているね。どんな想像をしたかが読み手に分かるように伝えているよ。 ○線や表情、筆さばきなどから想像を広げていることが分かったよ。 ○筆者の主張につながる具体がたくさん書かれているね。</p> <p>絵のどこに着目して想像すればよいかを理解し、自分のおすすめる名画を見る視点に取り入れようとしている。</p>	<p>■「絵」「着眼点」「感想・評価の言葉」といった観点を示すことで、筆者が何に着目し想像を広げているかが捉えられるようにする。</p>
<p>筆者の主張の説得力を高める工夫を読む。</p>	<p>○「はっけよい、のこった」と会話文から始まっているね。実況中継みたいで相撲をしている様子が想像できるよ。 ○絵巻物をページに分けているよ。パラパラ漫画みたいに動きを感じる工夫だね。 ○筆者は、アニメーション監督だからアニメや漫画と結び付けて伝えられたのだと思うよ。 ○絵から分かることだけでなく、絵巻が描かれた時代背景のことも伝えているよ。大昔だからこそ漫画のような描き方の価値が今よりも高いと思うよ。まさに人類の宝だね。 ○社会で室町の文化を学んだ時、戯画化されたものについても学習したね。</p> <p>筆者の主張の説得力を高めるための表現や構成の工夫を見付け、筆者のものの見方や考え方から自分のものの見方を広げている。</p>	<p>■筆者の表現の工夫を付箋に書き出し、共通点や相違点をまとめていく。その際、手法とその効果を整理できるように観点を示しておく。</p> <p>【社会】 今に伝わる室町の文化と人々のくらしについて学習したことを想起する。</p> <p>■社会科での学びを掲示しておくことで、昔の文化が今に伝わっていることの価値を感じられるようにする。</p> <p>■筆者の主張と表現や構成の工夫を結びつけて考えられるように、板書に主張を残す。</p>

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
整理・分析(1)		
<p>おすすめの名画から伝わる魅力を付箋に書き出す。</p>	<p>○この絵からは、・・・という雰囲気や伝わるな。 ○描いた人は、きっと・・・な人なのかな。 ○この人の表情は、・・・と知っている表情に見えるよ。 ○色がきれいで、元気な気持ちになるよ。 ○この線からは、勢いが感じられるよ。</p> <p>筆者の主張や評価からイメージを広げ、おすすめの名画から伝わる魅力を考えている。</p>	<p>■名画から感じた魅力を付箋に書き出す。「筆者の主張」「着眼点」「感想・評価の言葉」を参考に自分がおすすめる絵の魅力を考えられるようにする。</p>
<p>おすすめの名画の魅力を付箋に書き足し、自分の評論文に活用するものを整理する。</p>	<p>○高畑さんの書き出しみたいに想像が広がる言葉から始めたいな。私の絵だと・・・で始めてみようかな。 ○やっぱりこの絵の魅力は、・・・だと思うよ。この魅力を伝えるためには、この付箋とこの付箋のことを詳しく書いた方がよいね。 ○学芸員さんは絵画をどんなふうに見ているのかな。絵画の見方を聞いてみたいな。</p> <p>自分の考えを整理し、自分ならではの見方を生かした評論文を書き上げたいという気持ちが高まる。</p>	<p>■自分の一番伝えたい主張を明確にし、その主張と結びつく付箋を根拠とする。付箋を並び直すことで、構成メモを作成する。</p>
まとめ・創造・表現(2)		
<p>おすすめの名画の評論文を書き上げる。</p>	<p>○付箋に整理できているから書けるよ。 ○書きながら、絵を見ている人への呼びかけも入れてみよう。 ○私の主張が伝わる文章になっているか友達に読んでもらおう。</p> <p>付箋に整理してきたことを基に、考えを再構築しながら評論文を書き上げている。</p>	<p>■自分の付箋(構成メモ)、教材文、教師の評論文等を参考にしておすすめの名画評論文を仕上げていく。必要に応じて、友達同士相談し合う。</p>
実行		
美術館に名画評論文を展示！『おもしろい絵を見てくだ祭』の開催！		
<p>実際に自分の評論文への感想や反応をもらうことで、伝える喜びや達成感を味わう。</p>		
振り返り(1)		
<p>単元での学習を振り返り、付いた力や自分の学びを確かめる。</p>	<p>○最初の評論文と比べると、自分が伝えたい絵のすばらしさを具体的に分かりやすく書くことができたよ。 ○絵から想像を広げる力が付いたから、図工の鑑賞や音楽の鑑賞でも生かしていきたいな。</p> <p>自己の学びを捉え、今後の学びに活用しようとしている。</p>	<p>■「おもしろい絵を見てくだ祭」コーナーを作ってもらい、絵と評論文をセットで展示してもらおう。</p> <p>■自分の学びをメタ認知させるために、育成する力に対する振り返りを行うと共に、自己の学びや今後への意欲を言語化させる。</p>

【児童生徒の変容】

評論文を書くことに困難さを感じていた児童が、美術館に評論文を展示するという目的に向けて、教材文から「筆者の主張」、「絵の着眼点」、「感想・評価」、「表現の工夫」等の視点をもって評論文の書き方を学ぶことでおすすめの名画に対するものの見方や考え方が広がり、評論文の書きぶりや変容した。パフォーマンス評価で行った絵の評論文では、初めて見た絵の事実から評価・感想を考え、評論文を完成させた。これは、国語科における読む力・書く力が身に付いているとともに本校で育成すべき資質・能力の【表現力】が高まっている姿だと捉えている。

また、美術館に評論文を展示するという目的に向けて、友達と相談し合い、友達の見方や考え方を理解したり、自分の見方や考え方を広げたりしている。これは、本校で育成すべき資質・能力の【協調性・柔軟性】を育成している過程の姿だと捉えている。また、友達と学び合うことで課題の解決につながったという経験から、今後の学習でも他者と共に学び合いたいという思いや身に付けた表現力を図画工作科や音楽の鑑賞で活用したいという学びに対する意欲の高まりが見られた。